

2006年3月期
決算説明会

1. 2006年3月期 決算概要

代表取締役社長

丸山良克

2. 2007年3月期 営業方針・営業計画

常務取締役 営業本部長

武田詔一

3. 質疑応答

2006年3月期
決算説明会

株式会社 きもと

2006年5月18日

2006年3月期トピックス

1. 東京証券取引所市場第一部指定へ
2006年3月1日
2. 三重第四工場新設
2005年7月稼動
3. 確定拠出年金制度導入
2005年10月より移行

内 容

- (1) 連結の範囲
- (2) KIMOTOグループの業績(P/L)
- (3) 貸借対照表(B/S)のポイント
- (4) キャッシュ・フロー計算書
- (5) セグメント情報
- (6) 2007年3月期業績予想
- (7) 配当状況

(1) 連結の範囲

連結子会社

事業部門名	関係会社名
機能性フィルム	KIMOTO TECH, INC.
	KIMOTO AG
	(株)キモトテクノ
情報システム	瀋陽木本數據有限公司

(注) 瀋陽木本數據有限公司は2006年4月より
瀋陽木本実業有限公司に社名変更いたしました。

(2) KIMOTOグループの業績

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	前期比
売上高	29,794	29,094	27,505	△5.5%
営業利益	2,070	2,437	2,490	2.2%
経常利益	2,036	2,535	2,658	4.9%
経常利益率	6.8%	8.7%	9.7%	11.5%
当期純利益	1,164	1,629	1,657	1.7%

(2) KIMOTOグループの業績推移

単位：百万円

35,000

30,000

25,000

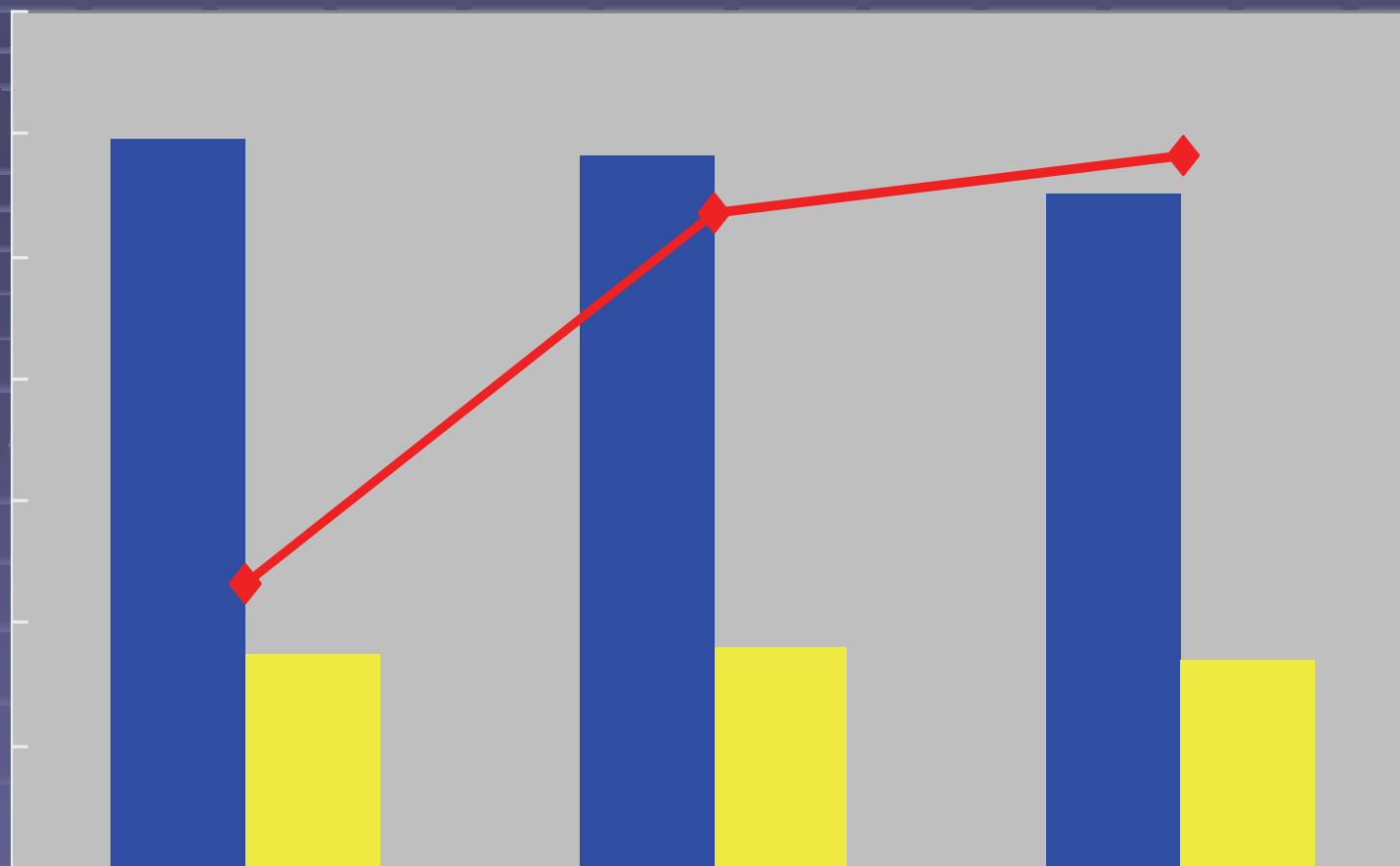
20,000

15,000

10,000

5,000

0



31.5%

31.0%

30.5%

30.0%

29.5%

29.0%

28.5%

■ 売上高	29,794	29,094	27,505
■ 売上総利益	8,775	8,950	8,521
◆ 粗利益率	29.5%	30.8%	31.0%

(3) 貸借対照表のポイント

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期
建物及び構築物	2,521	2,587	3,214
機械装置及び運搬具	1,172	1,225	2,040
土地	2,224	2,222	1,502
投資有価証券	1,788	1,594	2,204

三重第四工場の完成

1,951百万円

高田馬場土地の売却

△145百万円

減損会計導入による土地評価減

△573百万円

投資有価証券評価差額

625百万円

(4) キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期
営業活動	2,957	3,667	1,414
投資活動	△ 427	△ 1,332	△ 1,533
フリーキャッシュ・フロー	2,530	2,334	△ 118
財務活動	△ 1,820	△ 112	△ 595

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント

機能性フィルム事業部門

情報システム事業部門

②所在地別セグメント

日本、北米、欧州

③海外売上高

①事業の種類別セグメント業績

機能性フィルム事業部門

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	前期比
売上高	27,697	27,495	25,908	△5.8%
営業費用	25,369	24,787	23,191	△6.4%
営業利益	2,328	2,707	2,717	0.4%

①事業の種類別セグメント業績

情報システム事業部門

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	前期比
売上高	2,096	1,598	1,597	－
営業費用	2,353	1,868	1,823	△2.4%
営業利益	△257	△269	△226	－

事業別売上

単位：百万円

	2004年3月期 実績	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績
機能性フィルム事業部門	27,697	27,495	25,908
電子・工業材料事業	14,449	16,686	16,606
グラフィックス事業	8,136	6,287	5,291
産業メディア事業	5,111	4,520	4,010
情報システム事業部門	2,096	1,598	1,597
全社合計	29,794	29,094	27,505

②所在地別セグメント業績

単位：百万円

	日 本	北 米	欧 州
売上高	25,263	2,798	517
構成比	88.4%	9.8%	1.8%
営業費用	22,803	2,664	624
営業利益	2,459	133	△107

金額にはセグメント間の内部取引を含んでおります。

②所在地別セグメント業績

北 米

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	前期比
売上高	2,588	2,490	2,798	12.4%
営業費用	2,424	2,435	2,664	9.4%
営業利益	163	55	133	141.8%

金額にはセグメント間の内部取引を含んでおります。

②所在地別セグメント業績

欧 州

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	前期比
売上高	3,020	1,415	517	△63.5%
営業費用	2,732	1,262	624	△50.6%
営業利益	287	152	△107	－

金額にはセグメント間の内部取引を含んでおります。

③海外売上高

単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	前期比
北 米	2,146	2,118	2,344	10.7%
アジア	1,457	2,126	2,149	1.1%
欧 州	3,093	1,525	630	△58.7%

(6) 2007年3月期業績予想

単位：百万円

	2006年 3月期実績	2007年3月期 業績予想		通期 前期比
		中間	通期	
売上高	27,505	13,600	28,800	4.7%
営業利益	2,490	1,050	2,650	6.4%
経常利益	2,658	1,050	2,650	△0.3%
経常利益率	9.7%	7.7%	9.2%	△4.2%
当期純利益	1,657	630	1,630	△1.6%

2007年3月期 事業別売上予想

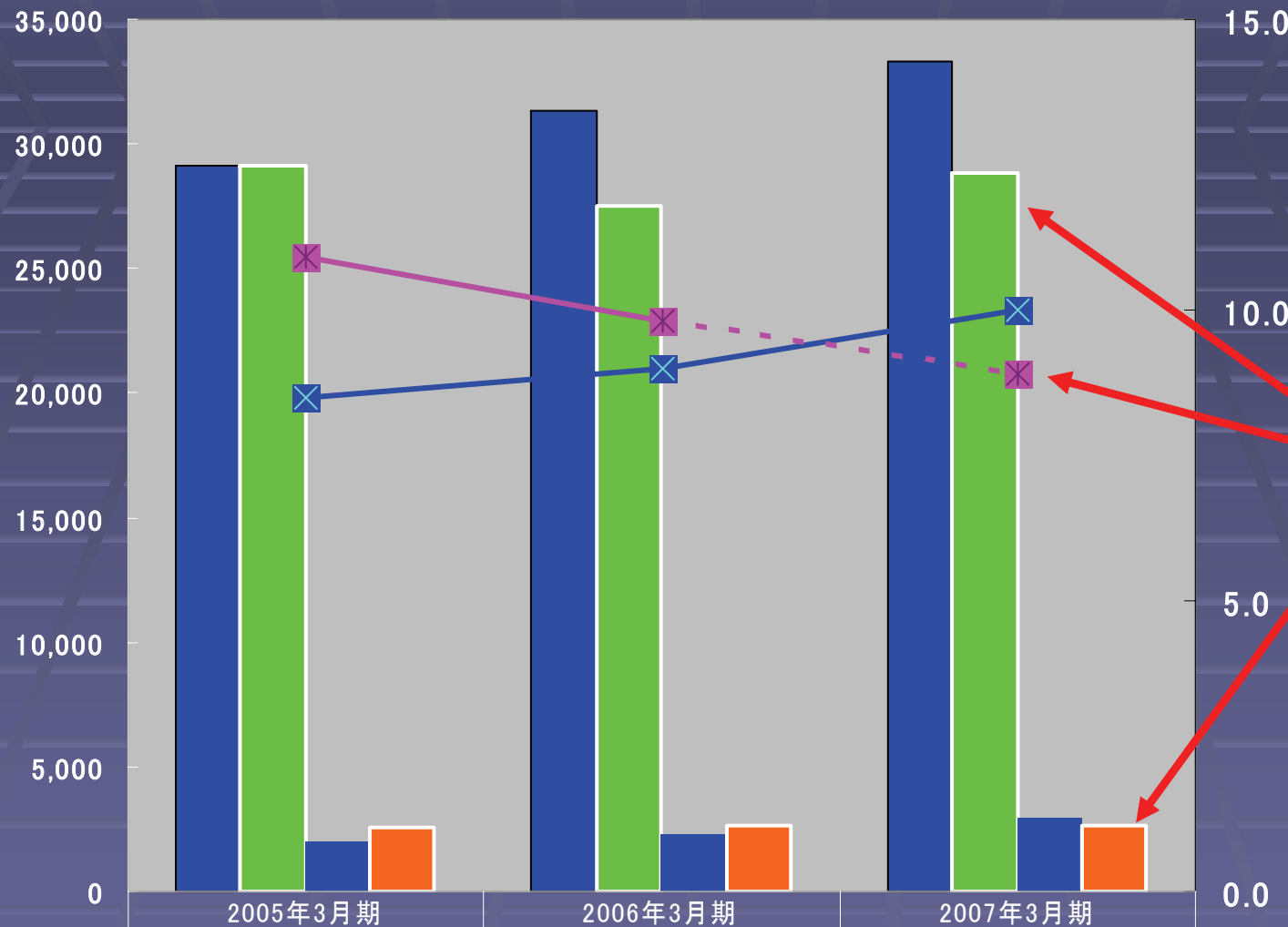
単位：百万円

	2006年3月期 実 績	2007年3月期 予想	前期比
機能性フィルム事業部門	25,908	27,100	4.6%
電子・工業材料事業	16,606	17,600	6.0%
グラフィックス事業	5,291	5,900	11.5%
産業メディア事業	4,010	3,600	△10.2%
情報システム事業部門	1,597	1,700	6.4%
全社合計	27,505	28,800	4.7%

中期経営計画の進捗状況

単位：百万円

ROE：%



売上高 中期計画	29,100	31,300	33,300
売上高 実績	29,094	27,505	28,800
経常利益 中期計画	2,000	2,300	2,900
経常利益 実績	2,535	2,658	2,650
ROE 中期計画	8.5	9.0	10.0
ROE 実績	10.9	9.8	8.9

(7) 配当状況

1株当たり予想配当金(個別)

	中間	期末		年間
		普通配当	記念配当	
2006年3月期	8円	8円	4円	20円
2007年3月期	12円	12円	—	24円

ありがとうございました

データ編 1

設備投資関係(連結)

①設備投資額

・2005年3月期実績	1,816百万円
・2006年3月期実績	1,573百万円
・2007年3月期予算	1,750百万円

②減価償却費

・2005年3月期実績	689百万円
・2006年3月期実績	977百万円
・2007年3月期予算	1,100百万円

データ編 2

研究開発費(連結)

・2005年3月期実績	710百万円
・2006年3月期実績	707百万円
・2007年3月期予算	950百万円

2007年3月期 営業方針と営業計画

株式会社きもと
常務取締役 武田 詔一

営業方針

企業の品格、営業の品格

(主旨)

企業文化の継承と明朗闊達な活動

スローガン

アグレッシブ V47
(攻めの営業)

(主旨)

新三カ年計画の基盤づくり

営業計画

全体：東証一部上場企業でワンランクUP
すべての面での質的改善

意識：製・商品の開発を強化

1. 新製造装置の導入（4月）
精密成型技術（E³プロジェクト）
2. 商品企画の強化
仕入れ商材の拡販
3年後 100億円

2007年3月期 売上予想

単位:百万円

事業区分	売上	前期比増減
電子・工業材料事業	17,600	6.0%
グラフィックス事業	5,900	11.5%
産業メディア事業	3,600	△10.2%
情報システム事業	1,700	6.4%
全社計	28,800	4.7%

主力製品の今期予測

- 液晶向けフィルム

テレビ・携帯電話 対前年比30%増

テレビ用バックライトの構成変更により量的拡大、ただし価格は低下

- 表面材フィルム

カーナビ・携帯電話・アミューズメント

対前年比20%増

用途の拡大により伸長

営業組織の強化

◆電子・工業材料事業

★電子・ディスプレイ 売上目標・100億円

拡散フィルム 日韓台中の連携強化

精密成型技術の実用化

・中国上海代表処の設立

電子・ディスプレイ関連 取扱目標（10億円）

中国マーケットの開拓、SKIとの連携

★工業材料 売上目標・76億円

ハードコートフィルム、サンドブラスト、
カスタムコーティングに次ぐ汎用製品の開発に注力

◆グラフィックス事業 売上目標・59億円

- ・CMSを中核に提案営業でマーケットリーダーを目指す
- ・キモセッターの欧州市場への拡販
- ・インクジェットメディアの拡販

◆産業メディア事業 売上目標・36億円

- ・開発営業部を新設 環境製品の品揃え強化
- ・ラクリーン(光触媒フィルム)のサイン分野への展開
- ・ディラッドファイバーの拡販 売上目標・3億円

新製品投入ファイバーEX 100インチ
ファイバーAC教育関連に拡販

◆情報システム事業 売上目標・17億円

- ・ 地籍調査事業におけるシステム販売強化
- ・ 国交省・法務省のデジタル化業務の受注
- ・ 民間向け新規ビジネスの提案
- ・ 拠点統合等で総原価低減目標・1.5億円

最後に・・・

がんばれ
ニッポン！
がんばれ
KIMOTO！！



ありがとうございました